

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	やんばる地域国立公園指定推進調査費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	国立公園課	課長 上杉 哲郎			
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010第1部第4章第2節3				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>これまで、やんばる地域の国立公園の指定に向けて、公園区域及び規制計画の素案等とともに自然環境と共生する文化の継承、里地里山の管理の継続等について検討を進め、地域の合意形成を進めた。</p> <p>しかし、やんばる地域の国立公園の指定にむけて、生物多様性の保全を図るためには、やんばる地域が生物多様性を大きく損なう可能性のある林業から脱却する必要がある。</p> <p>そこで、本調査では、森林組合等が、自らやんばる地域の生物多様性の重要性を理解した上で、観光旅行者を対象としたガイドや自然体験プログラムを企画、運営し、収入を得るための知識や技術を身につけることで、地域住民が林業以外の収入で生活する体制を構築し、もって、国立公園の指定と地域住民の生活維持の両立を図るもの。</p>						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>森林組合や林業従事者を対象として、エコツーリズムの先進事例等を学ぶ勉強会を開催するとともに、観光旅行者を対象としたガイドツアーや自然体験プログラムを開発し、試行的に実施する。また、他地域のガイドツアーや自然体験プログラム等との差別化を図るため、森林組合等が、照葉樹林の希少種の保全活動や伐採された森林の再生活動を、専門家の参画を得て実施し、その成果もガイドツアーや自然体験プログラムの開発に盛り込む。さらにこれらの結果をふまえ、本事業終了後におけるガイドツアーや自然体験プログラムの実施体制の詳細を検討し、やんばる地域生物多様性保護管理計画としてとりまとめる。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	6	6	6	6	—
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	6	6	6	6	—
	執行額	6	6	6			
執行率(%)	98	97	98				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	新たな国立公園の指定に向け、やんばる地域における生物多様性の保全と利用の質的向上を図る調査であるから、定量的な成果目標を示すことができない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	新たな国立公園の指定に向け、やんばる地域における生物多様性の保全と利用の質的向上を図る調査であるから、定量的な活動実績を示すことができない。	活動実績(当初見込み)	件	—	—	—	(—) (—)
単位当たりコスト	—	算出根拠		—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	鳥獣等保護費	6	—	事業の見送り			
	計	6	—				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、米軍訓練場の返還後速やかにやんばる地域における新たな国立公園の指定を達成することに加え、地域振興を推進するという成果も併せて引き出すものである。</p> <p>・国内最大規模で固有種が集中的に分布する照葉樹林を、国立公園等に指定してその保全を図ることは、生物多様性国家戦略においても、喫緊の課題とされており、環境省の重要なミッションである。</p> <p>・やんばる地域では、訓練場返還後の地域振興が重要な課題となっており、返還を機に開発の圧力が強まることも懸念されている。特に、現在、林業による生物多様性への影響が懸念されており、林業を生物多様性保全型に転換することで地域振興を図り、生物多様性への影響を低減させることは、地域住民のニーズのみならず、重要地域の生物多様性保全を求める国民のニーズに広く応えることとなる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		<p>やんばる地域の国立公園指定に向け、公園区域及び規制計画の素案等を作成し地域の合意形成を得るといった一定の成果を得たが、生物多様性保全に資する生業のあり方や米軍基地返還問題等もあるため、平成24年度事業については見送るべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>廃止</p>	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		<p>-</p>	

環境省
6百万円

やんばる地域の国立公園の指定に向けて、
自然環境と共生する文化の継承、里地里
山の管理の継続等について検討を進め、
地域の合意形成を進める。

那覇自然環境事務所
6百万円

【総合評価: 請負】

A.(株)プレック研究所
6百万円

やんばる地域の国立公園の指定に向けて、自然
環境と共生する文化の継承、里地里山の管理の
継続等について検討を進めるため、やんばる地
域における亜熱帯照葉樹林の森林環境の特色
及び現況に関する調査等を実施するもの。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)ブレック研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度やんばる地域における亜熱帯照葉樹林の森林環境に関する調査及び資料収集業務	6			
計		6	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレック研究所	やんばる地域の国立公園の指定に向けて、自然環境と共生する文化の継承、里地里山の管理の継続等について検討を進めるため、やんばる地域における亜熱帯照葉樹林の森林環境の特色及び現況に関する調査等を実施するもの。	6	1	98.5